

第11回 0から始める！やさしい疾患勉強会

「誤嚥性肺炎」について学ぼう！

～研修会報告～

この研修会は、主に介護職の方が「疾患の基礎知識」「生活支援の中の観察項目」「支援時のケアの注意点」などについて学び、疾患の基礎知識を持ったうえで必要な情報共有や支援につなげることを目的として開催しました。多職種73名(会場9名、オンライン64名)の方がご参加くださいました。

開催日時:

2026年4月23日(金)

14時～15時30分

おくみ ようこ
講師 **奥見 陽子** 氏



兵庫県立
はりま姫路
総合医療センター
看護師長補佐

主 な 内 容

- ◆誤嚥性肺炎とは
- ◆誤嚥の種類(顕性誤嚥、不顕性誤嚥)
- ◆誤嚥性肺炎の主なリスク要因
- ◆高齢者に多い背景
- ◆誤嚥性肺炎の症状(典型症状、非典型症状)
- ◆検査・診断・治療
- ◆在宅での観察ポイント、早期発見のポイント
- ◆報告のタイミング(基本、緊急)
- ◆予防と日常生活のポイント
 - ・口腔ケア ・食事 ・嚥下体操
 - ・薬剤調整、予防接種
- ◆多職種での情報共有

★「介護職に必要な病気の知識とケアのポイント」として、過去の疾患研修会をまとめた資料を作成しています。ぜひご活用ください！！(まとめの資料はセンターホームページでご確認いただけます！
ホームページ→ <https://www.himeji-renkei.com>

参加者の皆さまからの声をご紹介します (アンケートより一部抜粋)

- 観察のポイントやリスク要因を学び、日常生活の予防、観察に目を向けて接していきたい
- 関わる側の非典型症状への知識があれば連携などの対応もスムーズになり、いち早く医療へ繋げることができると思う
- 予防のために食事の姿勢や介助のポイントを守れるように職員間で共有したい
- 利用者様の見守りをやっている際、いつもと違う！？の気付きを大切に接し、関わっていききたい
- 食事内容ばかりに目を向けていたが、食事を摂る際の環境や姿勢にも配慮したい
- 誤嚥にも種類があることを知ることができ、勉強になった。また、さまざまなリスク要因があることも学ぶことができ、気をつけるべき点に気づくことができた
- 予防方法や訓練、食事形態の紹介・指導など、実践できる情報が得られた

★【勉強会予告】次回は「肺がん」(9月頃予定)です！詳細が決まり次第ホームページに掲載します★